



NO. 266

2015. 8. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

全国手をつなぐ育成会連合会の定時総会・
全国事務局長会議が開催されました

理事長 小泉 いと子

6月24日(水)に全国手をつなぐ育成会連合会の定時総会が、7月9日(木)に全国事務局長会議が東京にて開催されました。

全国手をつなぐ育成会連合会は、昨年7月に発足したので27年3月で初めての決算期を迎えました。今回実施されました両会議では、2014年度の活動報告、2015年度の活動方針等が示されましたので、ご報告させていただきます。

◆2014年度活動報告・2015年度活動方針◆

2014年7月に、全国の育成会が結集し新たな全国規模の運動体として「全国手をつなぐ育成会連合会」を立ち上げました。

新たにスタートした組織の中核となる事業を5つの分野に分け、その機能を担う5カ所の正会員育成会(【1】事務サポートセンター〔滋賀県育成会〕、【2】権利擁護センター〔兵庫県育成会〕、【3】政策センター〔静岡県育成会〕、【4】国際委員会〔東京都育成会〕、【5】本人活動支援委員会〔大阪育成会〕)と連携し調整をしながら手さぐりで進めてきた一年でした。

執行部である三役におきましても、運動体としての活動や事業運営は、時間に追われ充分かつ迅速な動きが取れない状態でありました。

一方、機関誌「手をつなぐ」に関しては、合併号や増刊号を発行するなどして、無事毎月の発行を行うことができました。

2015年度は、これらの課題を少しでも解消できるように、資金繰りと収支のバランスを見ながらITソフトを入れることや、外部知見を活用すること、第三種郵便の申請をすることなど検討を重ねながら、今

後の育成会連合会の少し先の見通しも持ちながら事業幹事育成会の全体を調整し対応していく必要があると思っています。

また、全国各地の育成会の高齢化や会員減少に対する地域育成会の活性化に向けて、各地のニーズに応じたセミナーや研修会、ワークショップなどを提示し、講師の派遣や費用についても工夫しながら、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

近年の障がい者に対する虐待事件や基礎年金の不支給問題への要望、現在検討されています総合支援法3年後の見直し、来年施行されます差別解消法に対しましても、短期の対応と中長期の対応とに分けて考え、政策センターや権利擁護センターを核にした対応をするとともに、2020年のオリンピック・パラリンピックと同時に開催予定がされています障がい者の文化・芸術の祭典に向けた活動にも、本人支援委員会や国際委員会と連携した対応を行いながら、育成会の本来の活動であります障がいのある人の権利擁護と政策提言を、運動体として着実に実行する体制を築いていきます。

◆障害年金の認定の地域差に関する問題提起◆

ここ最近、全国的に障害年金の区分見直し等の認定時に、従来の区分から下げられたりする事案が散見されるようになり、全国手をつなぐ育成会連合会では、全国の正会員に向けて実態調査をしました。

その結果、本来であれば全国で統一基準となっているものが、地域によって取扱いが異なっている事が判明しました。

原因としては、発達障がい者や知的障がい者の年金の区分判定をする際、精神障がい者と同等の基準で判定されていることにあります。

精神障がい者については、通院や投薬により病状が変動することもあり得ることから、手帳も2年に1回